

第36回全国病児保育研究大会 in Aomori

開催案内

テーマ こどもの育ちの保障

—病児保育が果たすべきこと—



開催地 青森県八戸市

会場 八戸プラザホテル

(青森県八戸市柏崎1丁目6-6 TEL : 0178-44-3121)

主催 一般社団法人 全国病児保育協議会

会頭 荒井 宏治 病児保育室「きりん」

実行委員長 山口 淑子 キッズケアルーム 風船

大会事務局 滝沢 鷹太郎 病児保育室 ひまわり

期日 令和8年7月19日（日）、20日（祝）

令和8年1月吉日

第36回全国病児保育研究大会 参加募集・演題募集のお知らせ

第36回全国病児保育研究大会 in Aomori

会頭 荒井 宏治

(医療法人泰平会 病児保育室「きりん」)

この度、第36回全国病児保育研究大会 in Aomoriを、2026年7月19日（日）・20（月）に八戸市にて開催する運びとなりました。こうして本大会を青森の地で開催できることを、大変光栄に存じますとともに、準備にご尽力いただいた協議会の皆様に心より御礼申し上げます。

病児保育は、病気の子どもを一時的にお預かりし、医療機関と連携しながら、専門の保育士や看護師が協働して最適な環境でケアを提供する、重要な子育て支援事業です。「子どもの育ちの保障」を実現すると同時に、保護者の就労を支える社会基盤としても欠かせない役割を担っています。本大会では、子育て支援に関する専門知識やベストプラクティスの共有、最新研究に基づく情報提供を通じて、病児保育の質のさらなる向上を目指します。また、参加者同士の交流やワークショップを通じて学びと共感を深め、病児保育の未来をともに切り拓く場となることを願っております。

現在、少子化は全国的な課題となっており、特に地方では若年人口の流出が深刻です。本州最北端に位置する青森県も例外ではありません。しかし、この地域で暮らす家族が子どもの健やかな育ちを願う思いは、大都市と何ら変わるものではありません。私たちはその願いに応えるべく、この地で「子どもの育ちの保障」を実現する取り組みを積み重ねてまいりました。

当初は弘前市にて、例年通り海の日を含む連休での開催を予定しておりましたが、今年は他の大規模催しと重なり、宿泊確保が困難となりました。そこで大会実行委員会で協議を重ね、全国からのアクセスが良く、会場・宿泊の確保が可能な八戸市へ開催地を変更することといたしました。また、大会事務局は八戸市の滝沢鷹太郎先生に担当いただくことになりました。協議会執行部ならびに加盟施設の皆様には、ご心配とご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。八戸市は水産業や工業で発展した青森県第2の都市であり、会場となる八戸プラザホテルは市中心部に位置し、多くの学会が開催してきた大規模会場を備えております。

準備のスタートは遅れましたが、現在、実行委員会は一丸となり、多くの皆さまにご参加いただける大会となるよう銳意準備を進めております。本大会を通じて、「子どもの育ちの保障」を実現するうえで病児保育が果たすべき役割を、参加者の皆さまと共有できることを願っております。大会の成功に向けて、そして今後も病児保育の発展のために、皆さまと共に歩んでいけることを心より祈念いたします。

皆さまのご参加をお待ちいたしております。

2月10日（火）より演題申込・事前参加登録の受付を開始します。別紙の募集要項等をご覧いただき、演題申込・参加登録を賜りますようお願い申し上げます。皆様方からの多数の応募・登録を心よりお待ち申し上げております。

【大会テーマ】 子どもの育ちの保障 一病児保育が果たすべきこと一

【会期】 令和8年（2026年）7月19日（日）、20日（月・祝）

【会場】 八戸プラザホテル

〒031-0081 青森県八戸市柏崎1丁目6-6

TEL：0178-44-3121（代）

ホームページ：<https://plazahotel.jp/>

【会頭】 荒井 宏治（医療法人泰平会 あらいこどもクリニック/眼科クリニック 病児保育室「きりん」）

【実行委員長】 山口 淑子（医療法人山口クリニック キッズケアルーム 風船）

【大会事務局】 滝沢 鷹太郎（医療法人滝沢小児科内科医院 病児保育室 ひまわり）

【参加費と登録方法】

5から6ページ、13ページをご確認ください。

【大会事務局】 医療法人滝沢小児科内科医院 病児保育室 ひまわり

〒039-1166 青森県八戸市根城5丁目2-16

FAX：0178-38-6036

E-mail：takisawa@rouge.plala.or.jp

（ご連絡はできるだけE-mail でお願いします）

【大会サポートデスク】 第36回全国病児保育研究大会 in 青森

大会サポートデスク：山岸 小幡

〒105-0012 東京都港区芝大門2-3-6 大門アーバニスト401

（株）ブランドウ・ジャパン内

TEL：03-5470-4401／FAX：03-5470-4410

E-mail：hoiku2026@nta.co.jp

（ご連絡はできるだけE-mail でお願いします）

【ホームページアドレス】 <https://36thbyouji.com/>

（令和8年2月1日公開予定）



一般演題募集要項

1：演題申込方法

ホームページからのお申込となります。
ホームページ上の「演題登録」ページから演題申込画面に入り、画面上の指示に従って必要事項・抄録本文を入力してください。

- (1) 本大会の発表演題の演者・共同演者は協議会会員施設（施設会員）のスタッフまたは協議会個人会員のみです。後日オンデマンドでの配信があります。
非会員の方で演題登録を希望される場合、速やかに入会手続きをおこなってください。
入会手続きは全国病児保育協議会ホームページをご確認の上、おこなってください。
(入会のご案内ページ <https://byoujihoiiku.net/guidance>)
- (2) 発表形式は、査読によって承認されます。すべて口演発表で、ポスターの前での質疑応答があります。応募状況により査読による内容によっては、誌面発表（プログラム・抄録集に抄録のみ掲載）とさせていただく場合があります。
- (3) 必要事項（演者名・所属名・連絡先・演題名）、抄録本文を全てご記入の上、登録をおこなってください。
- (4) 詳細はホームページ上に掲載いたします。

2：抄録作成要領

演者名（抄録作成要領登録可能な共同演者数（筆頭演者含む10名））、所属名（発表者、共同演者とも、登録可能な施設数5施設以内）、連絡先（氏名、所属、郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス）、演題名（50字以内）、抄録本文（1,500字以内、外字・特殊文字不可、図・表添付不可）で作成してください。

3：演題募集カテゴリー

以下のカテゴリーから選択してください。

- (1) 感染症
- (2) 保育看護・遊び
- (3) 災害・安全・BCP・教育
- (4) 運営・地域連携・広域化・ICT
- (5) 医療的ケア・神経発達症・レスバイト
- (6) 虐待・貧困・社会問題
- (7) 食育・健康支援・与薬
- (8) その他

締め切り後、実行委員会による査読の際に採否・口演演題選定のほか、発表順やプログラム割りなどを決定いたします。

4：発表形式（口演とポスターの両方です）

(1) 口頭発表について

- ・発表はすべて口演です。壇上には2人まで上がれます。
- ・口演発表時間は、発表8分、質疑2分を予定しています。
- ・壇上での質疑は1～2問だけで、残りはポスター前で質疑時間を設けます。
- ・オンデマンド録画作成のため口演は規定のパソコンを使用していただきます。
- ・ご用意できる環境はWindows 11及びパワーポイント 2021以上、あるいはマイクロソフト365となります。その他のWindows、Mac、OHP、スライド映写機は使用できません。
- ・発表データ作成や提出方法の詳細については、後日ホームページでご案内します。

(2) ポスター質疑について 口頭発表のあとにポスター前での質疑があります。

- ・ポスター掲示スペースは90cm（横）×180cm（縦）を予定しています。
- ・場所は発表会場（第2会場）の入り口前のホワイエです。
- ・発表者は規定時間に自分のポスター前に待機して、質疑を受けてください。
- ・カテゴリーを担当した座長も規定時間内はポスター前で質疑に参加してください。
- ・ポスターの貼付時間や撤去時間は遵守していただきますようお願いいたします。
- ・時間などの詳細は後日ホームページや抄録集に掲載いたします。

5：受付期間

演題申込受付期間 令和8年2月10日（火）正午～3月31日（火）正午

6：演題採否通知

申込期日までにご提出いただいた抄録をもとに、採否を決定いたします。演題採否の結果は、E-mailで令和8年（2026年）5月中旬までに通知させていただく予定です。

演題採否・プログラム割り・発表日時など決定に関しては実行委員会に一任していただきます。

7：演題申込に関するお問い合わせ先（演題申込受付担当窓口）

第36回全国病児保育研究大会 in 青森（講演・演題担当）

〒036-8093 青森県弘前市城東中央4丁目2-8

FAX 0172-27-2010

E-メール hirosaki36thbyouji@outlook.jp

（ご連絡はできるだけE-mailでお願いします）

事前登録・申込のご案内

【事前参加登録】 *

事前参加登録は大会ホームページより行ってください。

(FAX・郵送・電話による登録受付は実施いたしません)

当日の受付の混雑防止やスムーズな入場のため、できるだけ事前参加登録をご利用ください。

「重要なご案内」

本年は「1 代表者 1 登録」となります。 (1 名の代表者が複数名の事前参加登録をおこなうことはできません)

参加者それぞれにご登録いただきます。なお同じメールアドレスで複数人数の登録はできませんので、メールアドレスをお持ちでない方は予め G-mail などを設定のうえ、参加登録をおこなってください。

※会員とは「施設会員」である施設に所属している方、もしくは個人会員の方を指します。

会員の方は参加登録の際「会員番号」をご記入いただきます。

ご自身の所属する施設の会員番号、もしくは個人会員番号を事前に確認しておくことをお勧めいたします。

【参加費】

参加区分	事前登録	当日登録
会員 (医師・施設長)	15,000 円	17,000 円
会員 (医師・施設長以外)	9,000 円	10,000 円
非会員 (医師・施設長)	18,000 円	20,000 円
非会員 (医師・施設長以外)	10,000 円	12,000 円
オンデマンドのみ	15,000 円	18,000 円
学生 (大学院生を含む)(当日登録のみ) ※学生証の提示が必要です。 ※ブラックアップセミナー / スペシャルインタレストセッション / 倫理委員会セミナーは参加不可	—	5,000 円

※ 学生以外の参加費には手数料 500 円が含まれています。尚、手数料のご返金はいたしかねますので予めご了承ください。

※学生以外の参加費にはプログラム・抄録集代が含まれます。学生でプログラム・抄録集が必要な方は当日会場にてお買い求めください。プログラム・抄録集は1部2,200 円（税込）です。PDFをホームページからダウンロードするのは無料です。

※ 2 日間通しての参加費となります。

※遠方や都合で来ることができない場合、**オンデマンド配信のみ登録もできます。**

※ 登録手数料

事前登録・当日登録ともに手数料は必要となります。

尚、手数料のご返金はいたしかねますので予め御了承ください。

新型コロナウイルス感染拡大による大会規模の縮小があっても返金はありません。

【お申込受付期間】

大会事前参加登録 *

事前申込が必要な定員制プログラム** 懇親会申込*** の受付期間は令和8年

(2026年) 2月10日(火)正午～5月29日(金)正午です。

(事前申込が必要な定員制プログラム** は、大会事前参加登録を行った方のみ、
お申込みいただけます。大会事前参加登録と同時のお申し込みをお勧めいたします)

【変更・取消】

ホームページ（登録画面）から変更・取消ができます。

締切日までは同じホームページ上で変更・追加・取消の操作を行っていただけます。

締切り後の変更・取消や操作方法がご不明な場合は E-mail で大会サポートデスクまでご連絡ください。

* 締切日以降（5月29日（金）正午以降）の取消の場合、参加費・懇親会費の返金はいたしかねますのでご了承ください。

【お支払い方法】

1. 銀行振込

2. コンビニ支払い

3. オンラインクレジット決済

のいずれかをお選びいただけます。

事前登録お申込後、原則として1週間以内にお支払ください。

振込手数料、コンビニ決済手数料はお客様負担にてお願い申し上げます。

なお、「最終の入金期限」は6月5日（金）です。期日をすぎて未入金の場合、すべての事前登録は無効となります。ご留意ください。

【事前申込が必要なプログラム】 **

以下のプログラムは事前申込が必要になります。

研究大会の参加登録を行った上で大会ホームページよりお申し込みください。先着順、定員制ですのでお早めにお申し込みください。定員に達し次第、受付を終了いたします。

※同一プログラムへのお申込は1施設あたり2名様までとさせていただきます。

※一部に参加対象が限定されたプログラムがございます。

ワークショップ、研修委員会・倫理委員会セミナー、スペシャルインタレストセッション一覧

※スペシャルインタレストセッションは「病児保育専門士」の方のみ参加可能です。

※各プログラムの実施時間は若干変動する場合もございます。

「お知らせ」

ワークショップを企画しました。ワークショップは参加型です。個人あるいはグループで一つのテーマに絞って結論を模索し、参加者と成果を共有します。参加者にとってきっと有意義な企画になると思いますので、ふるってご参加ください。各セクションの定員数に限りがあります。

要事前登録

ワークショップ1		「子どもの心に寄りそうこと」それは何なのだろうか 送迎サービスを知った小学生の手記と高校生の支援から				
日時	7月19日（日）10:00～10:50					
定員	40人	対象	制限なし			
担当	病児保育室ひまわりスタッフ					
概要	<p>青森県八戸市では、県内で初となる病児保育送迎サービスを開始しました。導入にあたっては、職員間でもさまざまな意見や不安があり、試行錯誤の中でのスタートとなりました。</p> <p>そのような中、地元紙「デーリー東北」の作文コンクールで最優秀賞を受賞した小学生の作文で病児保育送迎サービスが題材に取り上げられ、また、県立八戸東高校の生徒による自主的なチラシ作成・配布といった、利用者や地域の若い世代からの後押しが生まれました。これらの声は、「もしもの時に頼れる安心な仕組み」として送迎サービスの意義を改めて示すものとなりました。</p> <p>本ワークショップでは、こうした八戸市の取り組みと現場の実情を共有しながら、全国的にはまだ十分に普及していない病児保育送迎サービスについて、周知の方法や持続可能な運営のあり方を参加者の皆さんとともに考えます。</p>					

要事前登録

ワークショップ2		「ちょっと気になる子の病児保育室での保育看護」				
日時	7月19日（日）11:00～11:50					
定員	40人	対象	限定なし			
担当	病児保育室「きりん」スタッフ					
概要	<p>初めての保育者や慣れない場所などに戸惑う子どもに困ったことはありませんか？また日々の子どもたちと向き合い保育看護していく中で、「（発達が）この子ちょっと気になる」と感じることはありますか？</p> <p>今回はそのような慣れない場所で一生懸命頑張る子どもたちに焦点を当て、皆さんが気になっている子どもについてグループごとに共有し、施設ごとの工夫やどのように保育看護していくべきか情報共有し学び合いたいと思います。</p>					

要事前登録

ワークショップ3		「子どものお薬の飲ませ方について工夫しよう」				
日時	7月19日（日）13:30～14:50					
定員	50人	対象	限定なし			
担当	平尾 航（薬剤師薬局つがる 薬剤師）					
概要	<p>子どもに薬を飲ませるとき、思うように進まず苦労した経験はありませんか。</p> <p>保育所や病児保育の現場では、薬の味や剤形だけでなく、子どもの発達段階、気持ちの揺れ、服薬に対する心理的抵抗、環境の変化、大人の声かけや対応など、様々な要因が服薬行動に影響します。実際、保育施設での与薬は、保育士にとって負担や不安を伴う業務であるとの報告があり、薬剤師との連携による支援の必要性が指摘されています。</p> <p>本ワークショップでは、まず子どもの行動を読み解くための基礎的な視点を、短い講義や参加型の形式を通して共有します。日々の保育の中で見られる反応をどのように理解し、どのような関わりが服薬の成功につながるのか、現場で使いやすい考え方と一緒に学びます。また、保護者からの聞き取りをもとに、日常的に行われている工夫や、つまずきやすいポイントについて参加者全員で考察し、保育室で活かせるヒントを整理します。</p> <p>さらに、飲ませにくい薬の扱い方や、身近な食品を用いた味・質感の調整について、体験を通して理解する時間も設けています。味の変化を実際に確かめることで、子どもにとっての“飲みやすさ”をより具体的にイメージでき、明日からの実践に直結する学びとなるでしょう。子どもの安心につながる“服薬支援”について、皆さんとともに深めていきたいと思います。</p>					

要事前登録

ワークショップ4		「病児保育における救急初期対応のロールプレイ」				
日時	7月20日（月・祝日）9:30～10:50					
定員	20人	対象	限定なし 教育講演4の受講が条件になります			
担当	堀江貞志（富山大学付属病院小児科）					
概要	<p>教育講演4「病児保育室で急変した子どもの初期対応」に引き続いて、ワークショップとして心肺蘇生等のハンズオンセッションを予定しています。</p> <p>小児の心肺蘇生法について正しい知識を持っているだけでなく、いざという時にそれを実行できるように備えておくことが重要です。そのためには実際の現場を想定した状況で正しい手技ができるように繰り返しトレーニングする必要があります。当日はマネキンを使用して実際に心肺蘇生法等を体験していただきます。</p> <p>皆さんのご参加をお待ちしております。</p> <p>（ワークショップ4の参加者は教育講演4が必須です。教育講演4の講義後に引き続き第3会場でおこないます。）</p>					

要事前登録

ワークショップ6		「“ともに支える”をつくるには」 —保育士と看護師の「協働」を考える—				
日時	7月20日（月・祝日）10:50～12:20					
定員	40人	対象	看護師、保育士			
担当	斎藤 美紀子（青森中央学院大学 教授）					
概要	<p>病児保育の現場では、看護師と保育士がそれぞれの専門性を持って子どもを支えています。けれども、判断や対応のずれ、情報の共有不足、「どこまでが自分の役割か」の曖昧さなどから、協働が難しいと感じる場面も多いのではないでしょうか。本ワークショップでは、「なぜ連携が必要なのか」をあらためて見つめ直し、参加者同士の実体験をもとに“つまずき”を言語化・共有していきます。話題提供とグループワークを通して、専門性を尊重し合いながら信頼関係を築くためのヒントを探りましょう。看護師の立場からのご参加を中心に、保育士のご参加も歓迎します。</p>					

要事前登録

ワークショップ 5		「保育看護記録で伝えたいこと・つなぎたいこと！」 —子ども・保護者・チームの関係を育む視点—				
日時	7月 20日（月・祝日）9:20～10:40					
定員	50 人	対象	保育士・看護師・その他（医師以外の職種）			
担当	森田 勝美（株式会社 ラ・ファミーユ 看護師）					
概要	<p>子ども一人ひとりの育ちと安全を支えるため、保育看護の現場では、記録の質と目的が重要性を増し、記録は保育看護の振り返りや連携の基盤と位置づけられる一方、表現方法や記述内容などが課題となっています。</p> <p>本ワークショップでは、記録の本来の意味・目的について学びを深め、ただ1日の様子を伝えるだけでなく、「子どもの権利を守り、保育看護の質を高める専門的ツール」となる記録へ転換する視点について理解し、参加者がそれぞれの現場で明日から役立てる記録の視点・スキルを持ち帰ることを目指します。</p> <p>※注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加の方は施設で使用している<u>保育看護記録用紙、1日の子どもの様子を記録し、保護者にお渡ししているもの</u>（実際に記入したもの）をご準備ください。 A4 サイズの<u>コピー6枚</u>を当日お持ちください。（会場内で使用した資料はWS後に企画側で回収処分いたします。） 保育看護記録の個人名は伏せてください。 必ず施設の使用許可をとってください。 会場内でカメラ撮影・録画などは禁止いたします。発見時は退場となりますのでご了承ください。 					

要事前登録

研修委員会セミナー		「ステップアップ研修」 病児保育専門士 認定更新業績単位 取得対象セミナー				
日時	7月19日（日）15：20～16：40					
定員	45人	対象	限定なし			
担当	研修委員会					
概要	<p>ステップアップ研修では、病児保育の現場で実際に遭遇する症例を想定し、限られた情報の中から児をアセスメントし保育看護計画立案、保育看護の展開を検討します。</p> <p>研修は、グループに分かれてワークショップ形式で議論を深め、自分とは異なる視点や考え方につれながら、気づきや学び深めることをねらいとしています。参加者それぞれの知識や経験を掛け合わせ、互いに補い合う場となることで、明日からの実践に活かせるアセスメントの視点や、保育看護展開の力を育む内容となります。</p>					

要事前登録

倫理委員会セミナー		「”倫理的配慮“を身につける」 病児保育専門士 認定更新業績単位 取得対象セミナー				
日時	7月19日（日）13：30～14：20					
定員	50人	対象	限定なし			
担当	倫理委員会					
概要	<p>倫理委員会が毎回開催しているセミナーです。全国病児保育協議会のホームページには病児保育専門士の倫理綱領が掲載されています。病児保育専門士として身につけるべき規範が示され、これに則って病児保育専門士は仕事をしなければなりません。</p> <p>倫理委員会は、様々な分野で「これは適切か？」「公正か？」といった倫理的な問題をチェックし、ガイドラインを作る組織です。特に、人々の尊厳や権利が守られるように配慮します。医療や病児保育の現場では、患者さん（子ども）の権利について、倫理的な観点から助言することが大切な役目です。</p> <p>本協議会でも、毎年たくさんの演題が発表されています。より良い病児保育を目指して症例報告やアンケート調査、新たな介入を行う研究などさまざまな演題がありますが、世間から内容を認めてもらうには倫理的な課題をクリアしていることが求められる時代になっています。</p> <p>今回のセミナーでは、事例検討を通して病児保育における倫理について、皆さんと考えてみたいと思います。</p>					

要事前登録

スペシャルインタ レストセッション	「病児保育の質を高めるワークショップの営み方」		
日時	7月19日（日）10:30～12:00		
定員	50人	対象	病児保育専門士
担当	資格認定委員会		
概要	<p>病児保育専門士として活躍される皆さまを対象に、ワークショップ運営の基本を学ぶセッションを開催します。</p> <p>ワークショップの目的や種類、進行の工夫など、これからリーダーを務める機会が増える方も、すでに経験のある方も、安心して一步を踏み出せるよう、ワークショップ運営のポイントを一緒に学びましょう。</p>		

【懇親会】 ***

開催日時： 7月19日（日）18:00～20:00（予定）

会 場： 八戸プラザホテル プラザアーバンホール

参加費： 事前・当日ともに

医師・施設長	15,000 円
医師・施設長以外	10,000 円

定員制・先着順に受付けます（300人）。研究大会の参加登録を完了された方に限ります。大会ホームページよりお早めにお申込みください。定員に達し次第、受付を終了いたします。なお、本大会は会場の都合により、例年より定員が少なくなっております。5月29日（金）正午以降のお取消の場合は、返金いたしかねます。予め御了承ください。

【ご昼食】 ****

今回の大会ではランチョンセミナーはありません。開催ホテルで作られたお弁当を1500円で用意します。参加登録時に申し込みください。

【ご宿泊について】（重要）

八戸市内の宿泊施設は数に限りがございますので、近隣市町も含めてお早めのご予約をおすすめいたします。現在、大会事務局が、宿泊施設の確保について旅行会社（JTB）と調整を行っております。宿泊に関する詳細につきましては、準備が整い次第、大会ホームページにて随時ご案内を申し上げます。

【抄録集・参加確認証等の発送】

6月下旬に「参加確認証」「定員制プログラム参加券」「懇親会参加券」「プログラム・抄録集」などを、お申込内容に即してご登録のご住所にお送りいたします。抄録集の発刊は1,000部です。なくなり次第、PDFの電子データでご了解ください。尚、余った際は別途購入可能ですが、価格は2,200円（消費税込み）です。

【託児について】 本大会では託児はありません。

事前参加登録お申し込み・お問い合わせ先

第36回全国病児保育研究大会 in 青森大会サポートデスク

〒105-0012 東京都港区芝大門2-3-6 大門アーバニスト401
(株) プランドゥ・ジャパン内

TEL: 03-5470-4401 / FAX: 03-5470-4410

E-mail: hoiku2026@nta.co.jp

（ご連絡はできるだけE-mailでお願いします）

プログラム概要（2026年1月現在）】（題目は変わる場合があります）

講演・セミナー

基調講演（2026年7月19日（日）10:00～10:50）

「子どもの育ちの保障 一病児保育が果たすべきこと一」

帆足 晴子（親と子どもの臨床支援センター）

特別講演1（2026年7月19日（日）11:00～11:50）

「親と子のアタッチメント（愛着）を考える 一子どもの心の土台です一」

宮本 信也（筑波総合クリニック）

特別講演2（2026年7月19日（日）13:30～14:20）

「医療を要することもを担当する保育士のキャリア発達に寄り添うために

- 資格認定にキャリアラダーを導入して見えてきたことを中心に-」

谷川 弘治（一般社団法人日本医療保育学会）

教育講演1（2026年7月19日（日）16:00～16:50）

「これから子どもの療育環境」

照井 君典（弘前大学医学部大学院小児科）

教育講演2（2026年7月19日（日）16:00～16:50）

「保育士のための子どもの神経発達症」

三上 珠希（独立行政法人国立病院機構 青森病院小児科）

教育講演3（2026年7月20日（月・祝）10:00～10:50）

「子どものアレルギー疾患」

北沢 博（東北医科大学小児科）

教育講演4（2026年7月20日（月・祝）9:30～10:50）

「病児保育室で急変した子どもの初期対応」

堀江 貞志（富山大学附属病院小児科）

会頭指定シンポジウム（2026年7月20日（月・祝）11:00～12:30）

「医療的ケア児の対応 一医療的ケア児を保育園や病児保育で看るために一」

網塚 貴介（青森県小児在宅医療センター）

感染症対策委員会セミナー (2026年7月19日(日) 14:30 ~ 15:50)

「子どもの感染症」

津川 毅 (札幌医大大学院小児科学)

安全対策委員会セミナー (2026年7月19日(日) 14:30 ~ 15:50)

「子どもの事故予防」

西田 佳史 (東京科学大学工学院)

保育園型委員会セミナー (2026年7月19日(日) 9:55 ~ 11:50)

「つなぐを繋ぐ」

市民公開講座 (2026年7月19日(日) 17:00 ~ 17:50)

「縄文人の家族観と子育て」

岡田 康博 (三内丸山遺跡センター)

研修委員会企画 オンデマンド配信のみ

基礎研修 (小児医学)、基礎研修 (保育)、基礎研修 (看護)、基礎研修 (保育看護)

その他

会長講演、会頭講演、行政説明、病児保育専門士更新説明会、調査研究委員会報告、施設長会議、支部長会議、一般演題、企業展示等

プログラムの詳細・各委員会の企画等、最新情報は随時ホームページを更新いたします。各プログラムの実施時間は若干変動する場合もございますので、最新情報はホームページをご確認ください。



八戸えんぶり



弘前城



青森ねぶた

会場までのアクセス・会場周辺図

●第36回全国病児保育研究大会会場

八戸プラザホテル

〒031-0081 青森県八戸市柏崎1丁目6-6

TEL : 0178-44-3121 (代)

ホームページ : <https://plazahotel.jp/access/> をご覧ください



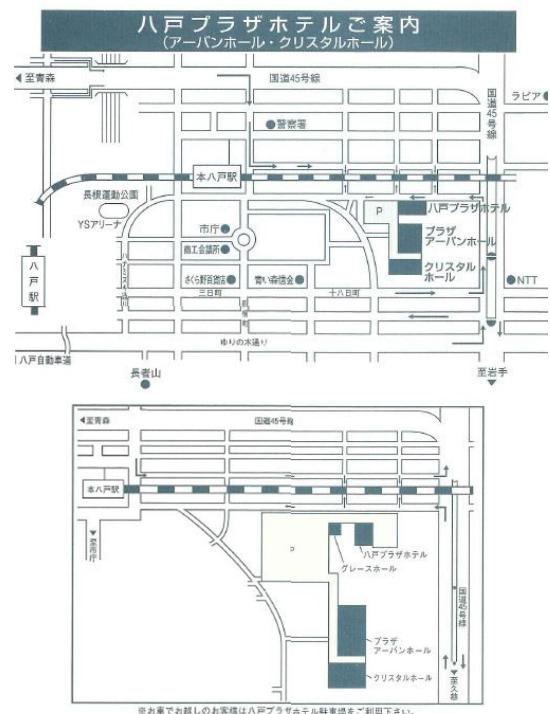
交通

東京～本八戸 東北新幹線は0.5～1時間間隔2時間45分で八戸駅 八戸線乗り換え10分で本八戸駅 (Suicaは使えません)
富山・石川・新潟・大阪 新幹線で大宮駅乗り換え八戸駅
大阪以西、四国・九州 新幹線で東京、東北新幹線で八戸駅
下記、航空便は令和7年12月時点です。最新の情報をご確認ください。

三沢空港 到着便 (例)

航空会社	便名	出発地	到着	航空会社	便名	行先	出発	到着
JAL	153	東京（羽田）	07:50 09:15	JAL	152	東京（羽田）	10:00 11:25	
JAL	2161	大阪（伊丹）	09:40 11:10	JAL	2162	大阪（伊丹）	11:40 13:25	
JAL	155	東京（羽田）	10:50 12:10	JAL	154	東京（羽田）	12:45 14:10	
JAL	2817	札幌（丘珠）	11:40 12:40	JAL	2816	札幌（丘珠）	13:10 14:05	
JAL	157	東京（羽田）	14:50 16:05	JAL	156	東京（羽田）	16:40 18:10	
JAL	2163	大阪（伊丹）	15:30 17:00	JAL	2166	大阪（伊丹）	17:35 19:20	
JAL	159	東京（羽田）	17:10 18:35	JAL	158	東京（羽田）	19:15 20:40	

三沢空港 出発便 (例)



屋外駐車場200台収納可能
●市営バス、南都バス、十和田観光バス、
二十八日町下車徒歩10分
●八戸駅より15分 ●三沢空港より40分
●シャトルフェリーより15分 ●本八戸駅より徒歩5分

政府登録・ホテル協会会員
八戸プラザホテル
〒031-0081 青森県八戸市柏崎1丁目6-6
0178-44-3121

第36回全国病児保育研究大会

大会日程

2026年7月19日（日）《第1日目》

名称	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	学会本部
フロア	1階	2階	1階	2階	1階	2階
建物	アーバンホール	本館	本館	本館	アーバンホール	本館
会場名	芙蓉の間	プラザホール	ブリリアント	桜	あずさ	桔梗野の間
最大定員	1000席	280席	300席	130席	110席	25席
9:00	9:00-9:35 開会式 八戸市長挨拶 会頭挨拶・講演	9:30-10:20 一般演題1 会長講演 感染症	9:55-11:50 保育園型委員会 セミナー	10:00-10:50 ワークショップ1 病児保育室ひまわり	10:30-12:00 資格認定委員会 スペシャルインタ レストセッション	
10:00	10:00-10:50 基調講演 帆足暁子先生	10:30-11:20 一般演題2 保育看護とあそび		11:00-11:50 ワークショップ2 病児保育室「きりん」		
11:00	11:00-11:50 特別講演1 宮本信也先生	11:30-11:50 ポスター質疑応答 発表1-2				
12:00	12:00-12:30	12:00-13:00	12:00-13:00	12:00-14:00	12:00-13:00	
13:00						本部
	13:30-14:20 子ども家庭庁説明 会	13:30-14:20 一般演題3 災害・安全・ BCP・教育	13:30-14:20 特別講演2 谷川弘治先生	13:30-14:20 倫理委員会セミナー	13:30-14:50 ワークショップ3 平尾 航先生	
14:00						
	14:30-15:50 感染症対策委員会 津川 毅先生	14:30-15:20 一般演題4 運営・地域連携・ 広域化・ICT	14:30-15:50 安全対策委員会 西田佳史先生	14:30-15:50 調査研究委員会報告 地域代表者会議 施設長会議	15:20-16:40 研修委員会セミ ナー	
15:00	札幌医科大学	15:30-16:20 一般演題5				
16:00	16:00-16:50 教育講演1 照井君典先生 弘前大学小児科	16:00-16:50 発達症・レスバイ	16:00-16:50 教育講演2 三上珠希先生	16:00-17:20 社員総会		
		16:30-17:20 一般演題6 虐待・貧困・社会 問題				
17:00		17:30-18:00 ポスター質疑応答 発表3-6	17:00-17:50 市民公開講座 岡田康博先生	17:30-17:50 総文人の子育て 連盟総会		
18:00	18:00-20:00 第36回全国病児保 育研究大会懇親会 八戸プラザホテル アーバンプラザ ホール					
19:00	中締め					
20:00						

2026年7月20日（月）《2日目》

名称	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	学会本部
フロア	1階	2階	2階	1階	2階
建物	本館	本館	本館	グレース	本館
会場名	ブリリアント	プラザ	桜	グレース	桔梗野の間
最大定員	300席	280席	130席	60席	20席
8:00					
9:00	9:00-9:25 次期会頭挨拶			9:30-10:50 9:20-10:40	
	9:30-9:50 資格認定委員会	9:20-10:10	9:30-10:50		
10:00	10:00~10:50 教育講演3 北沢 博先生	一般演題7 食育・健康支援・ 与薬・あそび	教育講演4 堀江貞志先生	ワークショップ5 森田勝美先生	
		10:20-11:10	ワークショップ4 病児保育における 初期救急対応の ロールプレイ		
11:00	11:00-12:30 会長指定シンポジウム 網塚貴介先生	一般演題8 その他の 11:20-12:10 一般演題予備	11:00-12:20 広域PTセミナー	ワークショップ6 斎藤美紀子先生	学会本部
12:00	医療的ケア児の対 応 パート2	12:20-12:50 ポスター質疑応答			
		12:50-13:00 閉会挨拶	発表7-8 ポスター撤去		
13:00					

メモ；